

佐久市志 民俗編・上

目次

目次

題字 神津武士

口絵 写真

発刊のことば

監修にあたつて

刊行にあたつて

例言

佐久市志刊行会長 三浦 大助

監修者 住谷 一彦

編纂委員長 大井 隆男

第一部 佐久市の民俗

第一章 土地と生活

第一節 立地と人びとの生活 三

一 生活の舞台 三

二 地勢と土地利用 六
三 集落の立地と形態 三

(+) 千曲川沖積地の集落 三
(-) 浅間山火山灰地の集落 七
(=) 東山沿いの集落 三

四 谷口や峠間の集落.....	二六
(五) 西山沿いの集落.....	二七
(六) 新しい集落の形成.....	二八
(七) 水と集落の消長.....	二九
四 地域共同体	三〇
第二節 交通と交易	三一
一 中山道とその他の往還.....	三一
二 周辺地域との交通と峠.....	三一
(一) 周辺地域との交通.....	三一
(二) 峠とその維持管理.....	三一
三 地域内の交通	三一
(一) 生活の道.....	三一
(二) 千曲川の渡しと水運.....	三一
(三) 交通路の維持と管理.....	三一
四 交通施設	三一
(一) 交通旅行用具.....	三一
四 運輸と通信	三一
(一) 運輸の種類と運搬具.....	三一

第二章 社会集団

第一節 家族と親族	二七
一 屋敷と住まい	二七
(一) 屋敷と構え.....	二七
(二) 間取り.....	二八
二 家族集団	二八
三 親族集団	二九
(一) 同族組織.....	二九
(二) 親族組織と呼称.....	二九
(三) 婚姻関係.....	二九
第二節 村	三〇

五 交易と周辺地域との関係	三三
(一) 商品の流入と流出	三三
(二) 行商と経路	三三
(三) 商圏と地域	三四
(四) 村にまわってきた物売り	三四

第一節 農業生産	二 近隣集團	一 村	三七
一 稲作	三 年齢集團	二 近隣集團	三五
二 畑作	四 村の階層	三 年齡集團	三三
三 養蚕	五 講集團	四 村の階層	三一
四 特色をもつ地域産業	六 第三節 町	五 講集團	二九
五 農閑期の仕事	一 町の生活	六 食生活	二七
	二 都市化	二 衣生活	二五
	三 第三章 生産と労働	三 食事の材料	二三
		四 晴れの日の食べもの	二一
		五 食べものの変遷と確保	一九
		六 調味料	一七
		七 食の用具と作法	一五
		八 供え物・禁忌	一三
		九 住まい	一一
		一〇 いろりとかまど	九二
		一一 調度・家具	九一
		一二 照明・暖房	九〇
		一三 飲料水と燃料	八九
		一四 建築儀礼	八八
		一五 屋根と言ひ伝え	七八

第三節 商人と職人 三〇

一 村の商い 三〇

(一) 雑貨屋と村びと 三〇

(二) 村の販売品と取り引き 三〇

(三) 行商 三〇

(四) 庶民金融 三〇

二 町の商い 三〇

三 村まわりの職人 三〇

第四章 年中行事と人生儀礼

第一節 生活の折り目・節目 三九

一 睦月 三九

二 如月 三九

三 弥生 三九

四 卯月 三九

五 隅月 三九

六 水無月 三九

文月 七
葉月 八
九月 八
長月 九
十月 九
十一月 九
十一 霜月 九
十二月 九
十二 師走 九

十三 神無月 九
行事の変化 九

十四 時間と生活 九
時間 九

第二節 人生儀礼 九

一 出産・成長 九

(一) 出産 九

(二) 産後 九

(三) 成長 九

二 婚姻・年祝い 九

(一) 婚姻 九

(二) 厄年 九

(三) 年祝い 九

三 死・死後 九

(一) 死	神棚にまつる神	八二
(二) 葬式	神棚以外にまつられる神	八五
(三) 葬式のあと	屋敷神	八九
(四) 魂の行方	墓地	八四
	祖先崇拜と供養	八四
	仏壇と位牌	八三
	墓地	八五
	寺と壇家	八三
	村の神社・祭り	八〇
	鎮守と産土	八〇
	祭り	八六
	地域でまつる神仏	八六
	地域で行う祭礼行事	八一
第一節 不安と信心	七五	
一 個人祈願と信心	七五	
(一) 祈禱と巫女	七五	
(二) 霊場めぐり	七五	
二 民間信仰	七五	
(一) 予祝・前兆と物忌み	七五	
(二) 除災と呪い	七五	
(三) 願望と占い	七五	
(四) つきものと妖怪変化	七五	
第二節 家と先祖を守る	八三	
一 屋内神と屋敷神	八三	

民俗編・下 目 次

第六章 芸 能

第一節 民俗芸能	八八
一 信仰的芸能	八八
(一) 神事にかかる芸能	八八
(二) 仏事にかかる芸能	八九
二 年中行事的芸能	八九
(一) 獅子舞	八九
(二) 踊り・おはやし	九〇
三 娯樂的芸能	九五
四 競技	九三
第二節 子供の遊び	九七
一 軒遊び	九七
二 外遊び	九九
三 辻遊び	一〇七

第三節 佐久地方の歌謡	一一六
一 歌謡の流れ	一一六
(一) 唄	一一六
(二) 楽器	一一七
二 宗教系の唄	一一七
三 作業唄	一二〇
四 祝儀唄・歳時唄	一二七
五 獅子舞唄	一二七
六 民謡	一〇六
七 わらべ唄	一〇七
(一) 子守唄	一〇七
(二) お手玉唄	一〇七
(三) 羽根つき唄・手まり唄	一〇八
四 競技の唄	一〇七
(一) 鬼あそび唄	一〇八
(二) 動植物の唄	一〇九
(三) ひなたぼっこ唄	一〇九

第七章 口承文芸

第一節 口頭伝承	二九
一 伝説	二九
(+) 自然伝説	二〇
(-) 歴史伝説	二一
(目) 信仰伝説	二二
第二節 昔話	二六
(+) 動物昔話	二六
(-) 人間昔話	二七
(目) 笑い話・小話	二八
第三節 ことわざ・その他	三八
一 ことわざ	三八
二 言葉遊び	三七
三 命名	三四
(+) 地名	三四
(-) 人名・屋号	三五
(目) 動・植物名	三九

第八章 方言

第一節 佐久方言の位置と特徴	二七
一 佐久方言の位置	二七
二 佐久方言の特徴	二五
第二節 分類別語彙	二六
はじめに	二六
一 身体・健康	二六
二 動作・性格・形容	二四
三 服飾(身につけるもの)	二四
四 食事	二四
五 住居	二七
六 仕事・道具	二〇
七 習俗・信仰	一九
八 遊戯	一九
九 動物	一九

四 日常生活語

第三節 方言の分布	十 植物	一三六
	十一 気象・地理	一三五
	二 言語地図	一四〇
	三 言語地図にみる四地点の差異	一四五

第二部 民俗の地域性

集落調査について 一五三

一 調査集落	一五三
二 調査項目	一五六

第一章 相 浜

一 地域の概観	一四五
二 水利と産業	一四五
三 生活用水と慣行	一五〇
四 特色ある民俗	一五二
五 村のつきあい	一五四

第二章 橫 根

はじめに 一四〇

一 言語地図	一四〇
二 言語地図にみる四地点の差異	一四五

第三章 跡 部

一 地域の概観	一五三
二 水と養鯉	一五〇
三 交通の今昔	一五一
四 信仰と民俗芸能	一五七

(一) 踊り唄	一六七
---------	-----

(二) 道祖神と獅子舞 [六七]

五 千曲川の氾濫と生活 [三一]

(一) 境界争い [三一]

(二) 地割慣行 [三九]

六 日記にみる村びとの生活 [三九]

佐久市志関係者名簿 [三九]

佐久市志関係者名簿
執筆者名簿
挿絵執筆者名簿

協力者名簿

資料提供者名簿

話者名簿

刊行会事務局名簿

教育委員会事務局名簿

編集後記

編纂委員長 大井 隆男

付図 佐久市全図・旧町村集落図

- 第一章 常和 [一六六]
 一 地域の概観 [一六六]
 二 水と産業 [一七〇]
 三 信仰 [一七三]
 四 村のつきあい [一八三]

第四章 常和

索引